



2016年4月1日 第825号

トレセンがリニューアル 創立125周年記念建設事業

2月1日、トレーニングセンターがリニューアルオープンした。2014年度に本学が創立125周年を迎えたことを受け、その記念建設事業である総合体育館改修工事の一環として行われた。

G号館地下のトレーニングセンターと総合体育館2階のトレーニングルーム、新学生会館地下のトレーニングルームの3箇所が総合体育館1階に集約された。総合体育館の南側は高等部が2014年度まで使用していたが、昨年の4月に高等部の体育館が新設され、2月1日より大学専用の総合体育館となった。また、新学生会館1階にあったスポーツ・文化課も総合体育館に移転され、新旧学生会館と総合体育館を効率的に管理運営できるようになった。スポーツ・文化課の移転後も学生会館では警備員が巡回し、新たに防犯カメラも設置され、防犯性が損なわれないようになっている。

これまでのトレーニング施設は3箇所に点在していたため、一部では学生の実態



トレーニングに励む学生

2014年度には、1日平均254人、年間延べ74,686人の学生や教職員が利用しており、改修後はより多くの利用者が見込まれる。体育会の部活動に所属する学生はもちろん、一般の学生も利用できる。初回の利

用登録料は2,000円で、講習会の受講後から使用できる。有効期間は1年で、更新料1,000円で1年延長することができ(在学中は再延長可)。トレーニングセンターのリニューアルにより、体育会のより一層の活躍と、関学生の学生生活の更なる向上が期待される。



発行

関西学院大学新聞 総部
☎662-0891
西宮市上ヶ原1番町1-155
関西学院大学新学生会館3F
電話：(0798) 51-1181
E-mail: kgpress2009@yahoo.co.jp

入学おめでとう！ ～新入生への祝辞～

関西学院 院長 田淵 結

Welcome to KWANSEI!

新しく関西学院大学にご入学のみなさんに、心から歓迎のご挨拶をいたします。

実は私もみなさんと同じく、この四月から新しく関西学院院長という務めをゆだねられ、とてもフレッシュで、緊張した思いを抱えています。ところで「院長」って何をすればいいのでしょうか。そもそも「院長」ってなんでしょう？

今から127年前に、現在の神戸市灘区に誕生した私たちの学校は「関西学院」と名づけられました。学「院」だからこそ、それを代表する立場を「院長」と呼び、創立者ランバス先生が初代院長に就任されました。そのときはとても小さな学校でしたから、院長が文字通り学校の代表者でした。しかし、現在、関西学院には7つのキャンパスに10の学校(幼稚園から大学院まで)があり、園長、校長、部長、学長がそれぞれの学校を代表しておられます。また学校法人関西学院の代表者は理事長が務めています。では院長っていったい何をするのでしょうか？

国公立の学校、そして多くの私立学校には「院長」という役職はありません。そう、それは関西学院だからある立場です。ということは関西学院にしかない個性、独自性を守り、それを発揮してゆくこと、それが現在の院長に与えられた一番大きな役割です。「キリスト教主義に基づき、Mastery for Serviceを体現する世界市民を育む」という、関西学院独自の、関西学院のすべての学校が目指す目標を、みなさんとともに実現してゆく働きです。

ぜひみなさんに関西学院だけの個性をひとつでも多く知り、身につけてくださることを願っています。そこで最初の質問、私たちの学校のオリジナルな呼び方はローマ字で「KWANSEI」です。まずこの名前を覚え、きちんと発音してくださいね。Welcome to KWANSEI!



関西学院大学 学長 村田 治

新入生の皆さん、関西学院大学へのご入学おめでとうございます。教職員、在学生を代表して心から歓迎いたします。

現在、ICT技術の発達などによって世界が小さくなりグローバル化が進んでいます。新入生の皆さんが社会に出て働く頃には、ほとんどの人が仕事の上で海外とのやり取りを行うようになるでしょう。そのためには、英語の運用能力を高めることは勿論のこと、大学時代に一度は海外に出て行ってほしいと思います。アメリカやヨーロッパの大学も、学生の留学を積極的に促進しています。その理由は、異なった文化や価値観に触れることにあります。言いかえれば、多様性への理解が求められているのです。

関西学院大学は、2014年度に文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に採択されました。その構想名は「国際性豊かな学術交流の母港『グローバル・アカデミック・ポート』の構築」というものです。その基本にあるのが、入学した学部での学びの他に、①海外留学等のインターナショナルプログラム、②他分野を学ぶ副専攻プログラム、③実践的な学びであるハンズオン・ラーニング・プログラムのいずれかに挑戦するダブルチャレンジ制度です。二つのことに同時に挑戦することによって、主体性が身につく多様性への理解も深まり、何よりも、未知へのチャレンジ精神が培われると考えます。

第4代院長C. J. L. ベーツ先生は、関西学院の建学の精神を「Mastery for Service」(奉仕のための練達)というスクール・モットーとして表現しました。自分の利益のためにだけではなく、世界人類のために自分を鍛えよと訴えられたのです。皆さんには、関西学院大学での学びにおいて、スクール・モットー「Mastery for Service」の意味を考えてほしいと思います。

どうか、自分自身にチャレンジし自己を鍛え、世界に羽ばたいて世界人類の幸福に貢献するという「高い志」を持ってほしいと心から願います。



扉の一言

「誰かをうらやましいと思うのは、他人の背中の中を覗き込んで見ているからなのかもしれませんね。」

本田 透

関西学院大学 大学図書館長 田和 正孝

ご入学おめでとうございます。希望を胸に大学の門をたたいた皆さんには、これまで以上に社会に存在する様々な課題を追究し、自らの将来を考える場に立つことになりました。正課だけに限らず正課外活動においても、本を読み漁ったり、資料を求めたりする機会が一段と増すでしょう。

今、世間には知性を尊ばない風潮が広がっています。それはあってはならないことです。ネットで検索することや学びや研究などと考える態度も戒めなければなりません。大学図書館は、書物だけに限らず驚くほど多くの情報を提供できる場です。知識をさらに蓄えとともに、心身を鍛える場所でもあります。大学図書館を利用できる「権利」を有したことをどうか大切に考えてください。リポート作成のためだけに定期試験期間中だけ図書館に足を運ぶような利用の仕方はもったいない、の一言に尽きます。図書館に足しげく通うことを楽しんでください。図書館をいかに利用したか問うことを、皆さん一人ひとりの卒業要件に組み入れてはどうでしょうか。どうぞ良きキャンパスライフを過ごされますよう。



関西学院大学新聞総部 総部長 青木 萌夏

新入生の皆様、ご入学誠にありがとうございます。関学へようこそ！

私はこの春3回生になり、大学生活の折り返しをあとという間に迎えた今、関学は学生が生き生きとしたまさに校歌の一節「輝く自由」が魅力の大学だとつくづく感じます。そして、高校までよりずっと「自由」が与えられるということは、同時に、主体性を持ち自らの「責任」において自らの成長の糧となるチャンスを探し掴んでいかなくてはならないということではないか、というのが、これまでの2年間の大学生活で学んだことです。

また、「出会い」をどうか大切にしてください。関学には、新たな学びや人との出会いが溢れています。私自身、未経験者として本部に入学し、取材を通して皆さんの素敵な方々にお会いして自分自身を見つめ直す機会を頂戴しました。

私共一同、新聞を通して皆様の関学での日々がより楽しくなる情報をお届けできるよう尽力して参ります。大きな希望と共に幸せな新生活を送られますように！



●2,3面 KGニュース
「連載」追跡!! SGU

●4,5面
クラス探訪記2016

●6面
部員コラム
お店探し隊

●7面
K.G. studio

●8面
大学スタートダッシュ特集

世の中にはルールが存在する。人間はルールの下でやって良いことと悪いことを判断し、行動を選択する。そのルールから逸脱すれば、何らかのペナルティを課されることが多い。故に人間は常にルールに縛られる。法を犯せば罪を償わなければならないから。校則を破れば停学、退学をしなければならないから。理由はいろいろある。ルールによって行動を制限することで、人間は昔から秩序を守ってきた。大小様々なルールのうち、ただ伝統的に存在しているだけで今の時代にはそぐわないものも少なくない。「男女別姓」がその一例だ。また、こういったルールや時として「常識」と呼ばれるものは、人の権利を侵害したり、あるいは何かを成そうとする者の障壁となったりする。もちろん、伝統的であることが悪なのではない。ルールや「常識」は先人たちが自らの経験から築きあげた、いわば叡智である。しかし、そうであることが盲目的に正しいと信じてよい理由にはならない。『いま』を生きているのはルールを作った先人たちではない。我々である。もしルールに縛られて窮屈な思いをしていながら、声を上げ、ルールを自らの手で作り変えることも前に進むためには必要なのかもしれない。それが先人たちに向けた我々の存在証明と言える。



4年間の集大成 輝く

絵画部弦月会卒業制作展 2016

2月21日から28日にかけて、京阪電車なにわ橋駅アートエリアB1にて、絵画部弦月会による「卒業制作展 2016」が開催された。ダイナミックな打放しコンクリートのギャラリーには、



自身の作品「救い」の前に立つ佐藤さん

4年生15名によって制作された約80点の絵画や立体作品が展示された。本会場が卒業制作展に使用されるのは4年ぶりである。本展の広報担当者の佐藤航さん（法・2016年卒）によれば、駅構内というアクセスの良さや、一般的にギャラリーには入りきらないほど多くの作品を展示できる広さが、本会場を選んだ決め手となった。来場者からは、作品の大きさや数の多さに迫力があると好評だったそうだ。

絵で辿る大学生活の軌跡

また、4年間の大学生活を通して得たものや成長の過程、感情の変化が作品内に表れているのも、本展の魅力だ。佐藤さんは、暗い部屋の中央に鮮やかなひまわりが描かれている「救い」と名付けられた自身の作品について「大学生活を送る中で多くの困難な経験もした。それでも、少しでも前向きな気持ちがあれば乗り越えられるのだということを、自分の記憶に留めたくて描いた」と語る。

また、アクリル画やオブジェ、切り絵や絵本といった個性溢れる表現が施された作品たちからは、4年間の集大成として制作者各々の方向性が確立されているという印象を受けた。



会場の様子

知っていますか？

休講・試験中止の基準

関学の休講・試験中止の基準について、教務機構に取材

した内容を元にQ&A方式で紹介する。特に新入生は必見だ。

自分自身と向き合ってきた弦月会の卒業生の、新天地での活躍や更なる成長を祈りたい。

Q・「暴風警報、特別警報（大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪）が発令されている間は授業・試験を行わない」とあるが、大雨警報や洪水警報が発令で休講等にならない理由は？ 仁川氾濫の危険もある。また、避難勧告が関学周辺ではなく学生居住地に出ている際の対応は？

A・暴風警報もしくは特別警報発令時にのみ休講等にする理由は、①これらの警報が交通機関の運行停止の可能性が最も高い警報と判断するため、②授業実施回数の確保のため、③授業や試験のスケジュールの変更回避のためが主な理由。これら以外の警報や避難勧告など基準に定めのない事態は、学長の判断で対処すると定めている。

適職を探る

女性の働き方セミナー

2月24日、第5別館にて、「女性の働き方セミナー」が開催された。キャリアセンタ―では毎年様々なプログラムが行われているが、このような女性の就職活動支援に特化したイベントを行うのは初の試みであった。

イベントでは、第一線で活躍している様々な年代、職種、女性4人を招き、仕事内容や職場環境などについての話

が対談形式で行われた。また、出産や育児、就職活動などに関しても経験談も聞くことが出来た。初の試みであるにもかかわらず多くの女子学生が集まり、会場は始終、真剣な空気に包まれていた。

男女問わず全ての学生が社会へ

キャリアセンタ―の職員はこのイベントが行われることとなった経緯について、「本学の学生の半数

学生にエールを送るとともに、熱い胸の内を語った。出産や育児休暇の制度や女

性は女性だ。社会で女性活躍推進の動きが広がっている今、キャリアセンタ―でも女性の社会進出に対する支援や取り組みを行うおもしろい」と話す。また、「それぞれが自分の適職を見つけて本学のスクールモットーである『Mastery for Service（奉仕のための練達）』を体現していることを支援やきっかけ作りを行うのは私たち大学側の使命だ」と

性管理職比率の向上など、女性の社会進出支援を行っている企業は多い。そして最近ではさらに、LGBT（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの総称）や障がい者に対する支援を行っている企業も増えてきている。このように新たな段階へと踏み出し始めている社会において、女性の社会進出はもはや実現不可能な課題ではないのかもしれない。男女問わず全ての学生が社会に出

る。学生が社会に出る。『Mastery for Service』を体現する日はもってくる。

Q・「暴風警報、特別警報（大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪）が発令されている間は授業・試験を行わない」とあるが、大雨警報や洪水警報が発令で休講等にならない理由は？ 仁川氾濫の危険もある。また、避難勧告が関学周辺ではなく学生居住地に出ている際の対応は？

A・まず所属学部の事務室に相談を。交通機関の遅延では遅延証明書を取得して大学に来ること。

Q・「暴風警報が発令された際の措置は、関学ホームページの「重要なお知らせ」や教員Webサービスの「お知らせ」で周知するため、このような場合はまずこれらを確認すること。また、②自分で関学ホームページに掲載されている休講等に関する要領

(http://www.kwansei.ac.jp/a-affairs/a-affairs_000850.html)を確認し、熟読しておくこと（警報解除の時刻により授業開始時間の取扱い等が定められている）、③定期試験が警報や交通機関の影響により中止になった場合、定期試験の期間内に振り替えて実施すること、④授業期間中、試験期間中とも、交通機関の遅延の際は必ず遅延証明書を取得すること、以上の4点はまず理解してほしい。また、大学は、措置を取る際にはできる限り学生の不利益にならないよう尽力する。なお、警報発令時は、まず身の安全を確保することが重要である。

春の献血週間

4月18日(月)～22日(金)
10:30～11:30、12:40～17:00
@西宮上ヶ原キャンパス
中央芝生横の白いテント

ジュースやお菓子を用意してお待ちしています！
一人でも多くの方のご協力、よろしくお願いいたします。

関西学院大学宗教総部 献血実行委員会

新聞総部の今がここにある！

Twitter : 「@kg_shinbun」で検索

新着情報、続々更新中！

Facebook : 「関西学院大学新聞総部」で検索

活動報告、発行情報あり！

HP : <http://kgpress2009.wix.com/kgpress2015>

コラムやバックナンバーあり！



追跡!! SGU 第8回

～大切なのは使命感～ 久木田 純 SGU招聘客員教授 インタビュー②



本学のスーパーグローバル大学事業についてシリーズでお伝えしている「追跡!! SGU」。今回は、久木田純先生へのインタビューの後半部分をお伝えする。久木田先生は、30年間国連職員として世界各地で勤務され、定年退官後本学のSGU事業施策のひとつである「国連・国際機関へのゲートウェイ構想」の推進に携わることとなった。2017年度開設予定の大学院「国連・外交コース」の授業

を担当するほか、「関学国際機関人事センター」の中心として、学生のサポートも行う。

国連・外交コースとは？

新聞総部記者（以下、新）：前回は久木田先生ご自身のお話を伺いましたが、ここで4月から本格的に始動する大学院の「国連・外交コース」について教えていただけますか。

久木田純先生（以下、久）：構想の名前にもある「ゲートウェイ」とは国連職員などになるための入り口や登竜門という意味を持っています。国連職員は従来の就職活動とは違い、準備に長いプロセスを要します。そのため、その間に国連職員として必要な能力を磨き、即戦力として活躍していけるようなヤング・プロフェッショナルを育てていきます。

新：では、国連職員になるために必要な能力とはどのようなものでしょうか。

久：大きく分けて5つです。一つは英語などのコミュニケーション力。これは当然、世界を股にかけて活躍していく国連職員としては必須です。次に修士、博士レベルでの専門的な知識、これはどの分野でもかまいません。そして、若手のプロとしての実社会における職務体験です。これらは国連職員になるための3条件と言われています。ですが、この他にも必要要素が2つあります。一つは「多言語・多文化での経験」です。つまり海外でのボランティアや留学経験といったように多言語・多文化の状況での活動、生活経験と言う事です。これに加えてもう一つ、一番大事な

要素があります。それは「使命感」です。世界のために貢献したいという気持ちがないと、そもそも国連職員への志望動機が成り立たないです。し、なった後にも様々な状況の中で思うようにいかないことも多々あります。そういった時にそれでもやり抜くという気持ちを持つためにも一番大事な要素であるとは私は思います。

新：なるほど。使命感が一つの鍵となるのですね。

包括的なサポート体制

新：このコースでは学生へのサポート体制も手厚くなっていると感じましたが、具体的にどのような体制になっているのでしょうか。

久：はい。このコースでは国連を目指す学生を入学前、在学中、卒業後といった様々な段階でサポートし、国連職員としての資質「国連コンピテンシー」を総合的に獲得できるようにになっています。まず入学前、学部生段階では情報共有のためのガイダンスや「カウンセリング」を実施して本人の志望動機などを高めます。これは実際に始めており（2016年2月現在）、カウンセリングを行う時間枠は軒並み満杯状態になっています。そして入学後は「コーチング」を行い、より綿密な指導や、インターン、ボランティアの機会も提供しようと考えています。さらに「卒業後」も、能力査定や足りない部分の強化を継続的に行い、国連関連の仕事などの紹介もしたいと考えています。

新：なるほど。非常に体系的ですね。これなら学生も安心して能力向上に努められそうですね。

「職務体験」カリキュラムに

新：先ほどおっしゃっていた国連職員に必要な能力の一つに「職務経験」がありました。これはカリキュラムの中に組み込まれているのでしょうか。

久：一口に「職務体験」といっても様々です。国際NGOや青年海外協力隊、UN（国連）ボランティアなどがあげられます。今回のこのコースでは、1年次の1月～3月の間にUNボランティアなどに参加し、使命感や多文化体験を高めることにしています。これは職務体験にも繋がります。海外の大学院で国連や外交に特化したカリキュラムを用意しているコースもありますが、日本国内では初となります。

新：それはすごいですね。こうしてみると濃密なカリキュラムになっていますね。

久：はい。そのためシステムティックに進めていきたいと考えています。私は以前から「もっと多くの日本人が国連で活躍できる」と考えていました。そのため11年前には「国連フォーラム」を作って、現役職員や国連でインターンをした人にインタビューをしたり、個人的に国連を目指す人へのコーチングをしてきました。ただ、国連を目指すには「長期的なキャリアプランを立ててあきらめずに進む」必要があります。国連退官後、こうした取り組みを大学単位で包括的に実施できないかと考えていた矢先に関学の構想に出会ったというわけです。

新：関学から国連で活躍する人材が生まれるのも遠くない未来ですね。お忙しい中ありがとうございます。

「求められる学生」とは

新：このコースで学ぶ学生に求めるものはありますか。

久：そうですね。先に挙げた要素ととりわけ「使命感」を持った学生に来て欲しいと思います。これが一番大切なポイントです。関学に来て私がびっくりしたことがあります。それは「Mystery for Service」というスクールモットーです。この言葉はまさにこのコースに求められる人物像を言い当てているので期待しています。国連で「働く」という事は世界に奉仕するという事です。

新：英語力も必要ですが、一定水準あれば大丈夫です。コミュニケーションのための英語をさらに伸ばしたいという意識が大事です。

今後の展望

新：さて、4月から本格的に始動するわけですが現在の意気込みなどはいかがですか。

久：自信はあります。私自身は今まで国連を目指す多くの人を支援してきましたし、今回のこのコースでも国連・外交経験を持つ教員陣を擁しています。また、これまでカウンセリングしてきた関学の学生さんを見て、も本心に有難いと思っています。国連へのハードルは高いですが、決して不可能なものではありません。ここまで体系的な取り組みは例がありません。国連を目指す人の日本での受け皿となる体制にしていきたいです。

新：関学から国連で活躍する人材が生まれるのも遠くない未来ですね。お忙しい中ありがとうございます。

論説 日進月歩 『動物の命を守れ!』

昨年の暮れ、ネコの飼育率がイヌの飼育率を上回ったことが大きな話題となった。日本では以前からペットとして飼う動物はイヌが主流であり、なんと、旧石器時代にペットとして飼われていたとされるイヌの化石が発見されている。

一方で、ネコをペットとして飼う歴史はイヌよりも浅く、平安時代頃から始まったと言われている。あの「枕草子」にも、ネコをペットとして飼っていたという記述がされている。

現在ネコがペットの主流となってきた背景には「イヌは散歩などの手間がかかる」「や「ネコはイヌのように吠えない」という点がある。また、イヌは狂犬病などの予防接種や健康診断が必要となるため、高額な医療費が負担になることも挙げられる。

このように、ペットの世話には手間や高額な費用がかかるにも関わらず、依然としてペットを飼う人の数は増加し

ており、街を歩けば、ペットショップや動物病院、ペット専門の美容室「トリミング・サロン」などもたくさん目に入るようになった。

その一方で、イヌやネコのペットとしての飼育率が増加するにつれ、動物虐待が増加し、動物愛護センターで保護されるイヌやネコの数も増加している。センターに連れて来られたイヌやネコのうち、驚くことに年間約20万匹が殺処分という最期を遂げているという実態があるのだ。保護されたイヌやネコは一定の期間センターで飼育されるが、引き取り手が見つからなければ、毒ガスを使って殺処分される。あまりにも残酷である。

そのような状況を変えるため、熊本市動物愛護センターが前人未踏の殺処分ゼロに向けての取り組みを始めた。その取り組みとは、まず、ペットの飼い主にペットと過ごした日々を思い出させたり、引き取り手を探させたりしてペットを手放すのを思い留まらせる。それでも飼い主が思い止まらない場合は、「飼い主にそのペットを殺処分する様子を見届けさせる」というものだ。この取り組みを始めて、多い年で1300件ほどあった殺処分数が0件になった。また、動物愛護団体などのボランティアの協力を得て、頻繁にトリミング（ペットの毛を切ったり整えたりすること）を行ったり、譲渡会を開催したりもした。

この熊本市の例は、市と、動物の殺処分を行う行政施設でいわゆる「保健所」と呼ばれる動物愛護センターと、動物の命を守る立場にある動物愛護団体、反対の立場にあるように思えるこの3つの施設が、「殺処分ゼロ」という同じ目標を掲げて協力することにより、2013年に熊本市の殺処分ゼロは実現することができたのだ。

また、東京都千代田区では、野良猫の去勢不妊手術にかかる費用を区が負担する。また、飼い主が見つかるまでの間は、「普及員」と呼ばれる区民がネコを預かる活動を支援している。これらの活動にかかる費用は、毎年開催される「ちよだ猫まつり」というチャリティイベントでの収益から得ている。去勢不妊手術を行うことは是非については意見が分かれるところだろうが、この政策には、殺処分されるネコの数を減らすことには繋がっている。

また、民間でも、忙しいときやどうしてもペットを置いて外泊しなければならぬときなどに、24時間ペットの世話をしてくれるペットホテルと呼ばれる施設が多く作られている。これは、ペットを飼う人の手助けになっているといえる。

テレビ番組などでは、明るい部分だけが大きく取り上げられるが裏では、多くの問題を抱えているペット業界。ペットを飼っている人、これから飼おうかと考えている人は、しっかりと責任を持つべきだ。ペットは人間の心の傷を癒してくれるが、自分の気持ちを「話す」ことはできないのだから。心の弱い私たちを優しく慰めてくれるペットを守るのは、私たち人間だ。

クラブ探訪記 2016

応援団総部吹奏楽部

応援団総部吹奏楽部は、毎年3月に行われる春のコンサートと、11月に行われる定期演奏会を大きな軸として活動している。また、吹奏楽コンクールの全国大会で金賞を受賞することを目標とし、練習に励んでいる。昨年は関西大会で金賞を受賞したが、惜しくも全国大会に進むことができなかった。今年こそはと意気込んでいる。その他にも、昨年2月には岡山で行われた船の進水式や阪神競馬場でのファンファールにも依頼を受けて参加した。また、老人ホームやチャイルドスクール、結婚式での演奏依頼などもあり、幅広く活躍している。

応援団総部吹奏楽部の活動は、それだけではなく、本学の入学式や卒業式、クリスマスの式典、同窓会支部の依頼を受けた演奏もしている。それに加

えて、体育会の応援も大きな活動の一つだ。関関戦では、出場する多くの体育会の試合に向いて応援し、本学の勝利に貢献している。

応援団総部吹奏楽部の魅力について、第62代部長の和田みなみさん(文・4)は「とても幅広い活動ができ、吹奏楽に本気で取り組むことができます。大変なこともあります。同時にやりがいも感じられます。また、地域の方々と触れ合うことができるのも魅力の一つです。演奏会やコンクールで全国各地に向くこともできます。さらに何となく、かけがえのない一生の仲間と出会うことができます。みんな仲が良く、温かい人たちがたくさんいます」と語る。

様々な活動に精力的に取り組む、コンクールで実績を残しているまさしくオールマイティな応援団総部吹奏楽部。本気で何かに取り組んでみたいと考えている新入生には、うってつけの部活動である。

年間スケジュール

- 5月 心はずむ吹奏楽コンサート
- 8月 吹奏楽コンクール兵庫県大会
合宿
吹奏楽コンクール関西大会
- 10月 吹奏楽コンクール全国大会
- 11月 第55回定期演奏会
(12月以降は未定)



基本情報

活動場所 旧学生会館4階音楽練習場10
活動日時 週6日 17:00~20:30(平日),
13:00~18:00(土日)
部員数 55人
連絡先 大谷綾香(文・3)
(新歓担当) dbv13900@kwansei.ac.jp
HPURL
<http://member.kwangaku.net/kgusb/>

甲山落語研究会

人を笑わせるのが好き。人前で語るのが得意。そんな人は是非一度足を運んでほしいのが、甲山落語研究会だ。

甲山落語研究会は、普段決まった曜日での活動はない。月に一度のミーティング、そして3月と9月に年2回の合宿を行っている。

普段は、毎日部室に足を運んで練習する人もいる反面、大会前に詰めて練習する人もいます。

全員が必ず参加する大会は、年に一度行われる本学主催の寄席である。また、週に一度ほどのペースで、病院や老人ホームから「落語を披露してほしい」という依頼も来るため、有志で出向いているという。

また、「寄席文字」と呼ばれる、落語特有の少し変わった字体の書き方も時々練習し、落語を披露する際は自分たちで「寄席文字」を使い、演者の名前などを書いているそうだ。

新入生はまず、先輩の指導を受け、落語の一つ覚える。練習の期間を設け、先輩方にその成果を披露し、合格したら入部出来るという流れだ。また新入生は、落語に使用する三味線か太鼓を選択し、練習する期間も設けられている。入部後

基本情報

活動場所 新学生会館3階和室1
活動日時 毎日
部員数 32人
連絡先 松山直樹
ffu30562@kwansei.ac.jp

年間スケジュール

- 2月 全日本学生落語選手権大会大賞
- 3月 春合宿、若手関関戦
- 4月 新歓
- 5月 新歓、芸名発表
- 6月 関関立寄席
- 8月 寄席文字練習、お囃子練習、夏合宿
- 9月 学際寄席
- 10月 2回生寄席
- 11月 1回生寄席
- 12月 3回生寄席、幹部交代



は覚えることがたくさんあるが、それも充実した活動を行える証拠である。部員の皆で落語を見せ合い、意見を交換し合い、切磋琢磨することによって、さらなる高みを目指している。

また、甲山落語研究会としての大きな大会は、毎年2月、桂文枝さん主催で行われる「策伝大賞」と、毎年8月に行われる「てんしき杯」の2大会だ。通常の落語なら20~30分の時間が与えられるところを、「策伝大賞」では6分、「てんしき杯」では10分という短い時間しか与えてもらえず、その中で個性を最大限に発揮しなければならぬ。「策伝大賞」には毎年15人ほどの部員が参加し、昨年は部から決勝進出が1人、「てんしき杯」では毎年5人ほどの部員が参加し、昨年はこちらも決勝進出が1人という、難易度の高い大会だそう。

代表の松山直樹さん(商・

ユネスコ研究部

ユネスコ研究部は、旅を通して世界遺産や文化遺産を深く知る部活である。代表の村上裕之さん(法・3)は「大学生活の楽しみの一つに旅行がある。旅行では有名な観

光スポットを回る事が多いが、その中には世界遺産なども多い」と話し、そうした史跡を深く知ることが新たな発見をすることがこの部活の醍醐味であると話した。

普段は世界遺産検定の取得を目指して勉強している。部員間の仲もよく、日々のんびりとした空気が流れている。「旅は一緒に行く人と楽しむことが大事。そういったコミュニケーションを普段から大事にしている」と村上さんは語る。

3)は「これまでは学年ごと」に寄席を行っていたが、部全体での寄席を大きなホールで行うなど、今後は新しい取り組みにも挑戦していきたい。そしてお客さんに「また来たい!」と言ってもらえるような落語を披露し続けたい」と、今後の抱負を熱く語った。お笑いの聖地である関西にいるからには、一度甲山落語研究会を覗いて、笑いに触れてみてはどうだろうか。



長期休暇に行われる合宿では、普段培った知識を深めるために様々な史跡を訪ねているユネスコ研究部。村上さんは広島宮島に行った事が思い出に残っていると話し、「海の上に鳥居や能の舞台があり、また牡蠣などのおいしいものも堪能できた」と振り返っていた。ちなみに昨年の夏は石見銀山や出雲大社、鳥取砂丘を訪ね、今年の3月には比叡山延暦



寺と金沢を訪ねたそう。最後に新入生に向けて「旅行が好きで人、世界遺産に興味がある人、そして大学生活を充実させたい人はぜひ部室に来てください」と村上さんはメッセージを送った。4月中旬には新歓コンパ・新歓遠足が、5月には新歓キャンプが予定されている。興味のある人は一度ユネスコ研究部の扉をたたいてみてはどうだろうか。



年間スケジュール

- 4月 新歓コンパ、新歓遠足
- 5月 新歓コンパ、新歓遠足
- 6月 新歓コンパ、新歓遠足
- 9月、10月 新歓コンパ、新歓遠足
- 11月 新歓コンパ、新歓遠足
- 12月 新歓コンパ、新歓遠足
- 2月 新歓コンパ、新歓遠足
- 3月 新歓コンパ、新歓遠足

基本情報

活動場所 新学生会館3階
ユネスコ研究部 部室
活動日時 平日の昼休み、空きコマ
部員数 38人
連絡先 Uneso2016@yahoo.co.jp

総部放送局

Kwansei Gakuin Broadcasting

総部放送局は、本学唯一の放送団体である。活動は3つのパートから派生する5つの研究部に分かれて行われる。

一つ目は「アクターパート」である。このパートには「アナウンス研究部」と「ドラマ研究部」が設置されている。「アナウンス研究部」はアナウンスメント技術の向上を目標に原稿読みやMC業務などを行い、「ドラマ研究部」は演技力の向上を目標に俳優、女優として活動する。

二つ目は「ミキサーパート」である。このパートには「技術研究部」のみが設置されており、主に放送機材の取り扱いや映像編集を行う。

三つ目は「ディレクターパート」である。このパートには「制作研究部」と「報道研究部」が設置されている。「制作研究部」は主にドラマなどのフィクション作品の制作を行い、「報道

研究部」は取材活動を通してニュースやノンフィクションの番組制作を行う。

入部後は、基本的に希望の研究部に所属することができ、人数制限が設けられているので注意が必要だ。

活動内容も多種多様である。上ヶ原キャンパスにて昼休みの時間に行われるお昼の放送や、春と秋のイベントの開催、講演会や地域のお祭りのMC依頼、他団体のPV依頼を請け負うなど、その活動域は学内外を問わない。また映像作品や実況のコンテストにも積極的に参加しており、優秀な成績を残している。様々な部署に分かれていることが、これらの多岐に渡る活動を実現させているのである。

第65代局長である後藤田甫さん(社・3)は、総部放送局の魅力について「メディアに興味のある人にとって、うってつけの部活動だと思っています」と話した。彼自身



基本情報

活動場所 新学生会館2階 総部放送局部室
活動日時 昼の放送…12:45~13:20
夜の放送…18:00~18:30
バックタートルパート…火・木・土に
ミキサーパート…金
ディレクターパート…金
部員数 約70人
連絡先 Twitterのアカウント(@KGBbroadcast)までダイレクトメッセージを!

年間スケジュール

4月7,8日 春の放送祭屋外イベント
「KGだョ! 関学生全員集合お〜う」@プラザ
9日 お花見@芦屋川
13,14日 春の放送祭Open On-Air
「関学生の知らない世界」@新学生会館前プラザ
15日 春の放送祭Open On-Air
「関学生の知らない世界」@局室
5月7,8日 オリエンテーションキャンプ
@千刈キャンプ場
21日 新歓コンパ@西宮北口
(日時未定) On-Air Live!!
6月 (日時未定) On-Air Live!!
7月 1年生新人番組作成
8月 全局合宿
9月 1年生お昼のニュースデビュー
10月 秋の放送祭準備
11月 秋の放送祭
(日時未定) On-Air Live!!
12月 代替わり時期
(日時未定) On-Air Live!!

※毎月一回定例総会あり



は制作研究部の所属。テレビ番組のプロデューサーや脚本家を志していたことが総部放送局の入部、ひいては制作研究部の所属を決める理由となったそうだ。その一方で「部員の中には、人前に立つことへの苦手意識を克服するため、あるいは何か新しいことや珍しいことを始めて入部した人も少なくありません」とのこと。総部放送局の関口の広さがうかがえる。取材当日は、新入生歓迎のためのイベントのリハーサルが行われていた。リハーサル

いけばな部

部員の外から聞こえる体育会部員の声や楽器の音とは反対に室内にはピンとした空気が張り詰めて、部員は花と一對一で向き合う。月曜日の好きな時間にここを訪れ、花を生けているのは、いけばな部である。

いけばな部は、「草月流」という流派で週に一度花を生けている。部員たちは、テキストの単元に沿って多くの生け方を学ぶ。本学の

ルの風景は掲載されている写真から確認してほしいが、寒空の中であつたにもかかわらず、終始和やかな雰囲気であつたのが印象的であつた。この仲の良さが数々のイベントを成功させている秘訣なのだろうと悟らせてくれた。「お昼ご飯を食べるついでに、気軽に部室に来てほしい」とのこと。メディアに興味がある人もそうでない人もぜひ部室まで行ってみるとよいだろう。楽しい話が聞けるかもしれない。

基本情報

活動場所 新学生会館3階 いけばな部 部室
活動日時 毎週月曜日
3限後から5限後
部員数 4人
連絡先 ejw04796@kwansei.ac.jp
mso0811@icloud.com

年間スケジュール

5月 華展
大学祭 華展
12月 華展



いけばな部出身である専属の美香先生のアドバイスの下、花を仕上げていく。テキストの単元がすべて修了すると級をとることができ、就職活動の際に履歴書に記入することができるよう、励んで級を取得する学生も多い。

部員の津島彩花さん(文・2)は、部の印象について「人数が少なく、アットホームな雰囲気」だと話す。

いけばなに使う花は、花屋さんに自分たちで注文する。華展などの、特別な行事の時は自分たちで好きな花を選ぶ。一方、普段の部活動では、店側が季節に合った花を届けるため、花が届くまで生ける花が分かつ、今日はどんな花が届いているのか、毎回楽しみだという。

話を聞いているときの笑顔とは打って変わって、花を生けているときの彼女は真剣そのもの。美香先生の「和」の空気に触れ、静かで、どこか張りのある、いけばな部。大学に入り、新たなことに挑戦したい新入生はぜひ一度、部室を訪れてみてはどうだろうか。

津島さんは今回生けた花について「花の中で一番好きなガーベラを生けることができた。先生の意見も取り入れながら生けたため、うまくできたと思う」と笑顔に。いけばなについては「先生に指導されて、完成作品を見る時に一番やりがいを感じる」と語る。



新入部員 大募集!!!

- ・ 関西学院大学新聞 年6回発行
- ・ 毎週金曜5限後に活動中!
- ・ 現在部員18名(2~4回生)
- ・ 未経験者、メディア志望者歓迎♪
- ・ 神戸新聞との連携事業展開中
- ・ 取材相手との貴重な出会い☆
- ・ 就活で役立つ文章力やマナー
- ・ サークルやバイトと両立可
- ・ などなど、

新歓やります!

4月15日(金)5限後
@部室(新学生会館3F)

魅力いっぱいの新聞総部で
最高の4年間を
一緒に過ごしましょう!

<連絡先>

総部長 青木萌夏(国・3) flv50390@kwansei.ac.jp
副総部長 中俊博(社・3) dkv13941@kwansei.ac.jp
twitter @kg_shinbun (リプライ、DM)

関西学院大学 新聞総部



扉の言葉

『誰かをうらやましいと思うのは、他人の背中の中に見ええるからなのかもしれませんね』

本田 透

「あなたの長所は何ですか?」不意に誰かにそう尋ねられた時、皆さんは何と答えるだろうか。「隣の芝生は青い」ということわざにもあるように、人は何でも他人のものは良く見え、自分のものは劣っていると感じてしまう傾向がある。それは自分の性格、外見、立場や境遇等、全

素敵というものがおにぎりの梅干のようなものだとしたら、その梅干は背中についているのかもしれない。世界中誰の背中にもいろいろな色や味の梅干がついていて、でも、背中についているせいでも、せつかくの梅干が見えないのかもしれない。自分には何も無いよう、真っ白なお米だようって、そんなことないのに、背中にはちゃんと梅干がついているのに」。そして透はこう続ける。「誰かをうらやましいと思うのは、他人の背中の中に見ええるからなのかもしれないね」。

今、希望に満ちた春とともに新生活がスタートする。新たな門出の前に、自分に自信が持てず最初の一步が踏み出せないでいる人もいるかもしれない。そんな人には、この言葉に込められた意味を思い出して欲しい。あなたの背中にもあなただけの「梅干」がついており、そしてその「梅干」をうらやむ人も必ずいるということ。

特別編!

大学生による大学生のための大学生活「ラム



環境の変化は人々の自立心を育てる。フランスの哲学者ジル・ドゥルーズは「人は安定した場所では考えようとしない生き物である」と説いた。つまり、自分にとって当たり前となっている周囲の環境によって、人は「考える」という行為を怠っているというのである。人が「考えさせられる」のは、新しい人や物事との「出会い」の瞬間である。私の家族は父の仕事の都合上、転勤が多かった。国内だけでも3か所は移動した。慣れた環境には転勤が決まる、という生活である。私は次第に新しい環境でも周囲の人々に自分を知ってもらうという努力をしなくなった。しかし、シンガポールへの転勤が決まり新しい生活を送る中で、私は自分の意思や意見を主張することの重要性に気づいた。周囲に日本語を話す者はほとんどおらず、必然的に英語を使って「自分はこういう人間だ」「私はこう考えている」ということを人々

後悔のない大学生活を

に伝えなければならなかった。そうしなければ周囲の人々と上手く関係を築いていくことができなかった。新たな環境、人との出会いが未熟だった私の自立心を育て、改めて自分自身について考えるキッカケとなったのである。

「出会い」は偶然的なものではなく、意味がある。また、それは自分の考え方次第で、無くすことができない。けれども、出会いを大切にし、より深く関わっていくことで得られる幸せは大きい。大学生はサークルや部活動、アルバイトなど多くの「出会い」のチャンスがある。環境の変化を上手く利用し、1つ1つの出会いを大切にしていこう。今、初心に返って自分について改めて考えてみてはどうだろうか。そして、新生入生には卒業する時に後悔がないと思えるような大学生活を送ってほしい。

(※今号は連載「教授の背中」はお休みさせていただきます。)

おすすめのお店探し隊! vol.5.

「黒ひげ」



第5回目となる「おすすめのお店探し隊」。今回紹介するのは、小林に店を構えるハンバーグとカレーの店、「黒ひげ」である。ここは伊丹にある「ジャンク」のオーナーが2店舗目として昨年9月にオープンしたお店だ。

店名の「黒ひげ」は、カレーが日本に伝来した当時、文化の橋渡し役をしていた船、その中でも船旅を脅かした有名な海賊、エドワード・ティラーの別名に由来している。

店内はアメリカンクラシックな雰囲気、漂い、ながら西部劇の中に存在しているかのような錯覚に陥る。また、所々に帆船の模型なども飾られている。これらの装飾はオーナー自ら集めているもの



のだという。メニューの柱となっているのはカレーとハンバーグ、ステーキであるが、その中でもカレーに対するオーナーの思いは熱い。スパイスの効いた本格カレーではなく、昔ながらの洋風カレーを作りたいという一心で作られたカレーには、様々な工夫が凝らされている。例えば玉ねぎである。うまみを引き出すため、カレーの中に3通りの炒め方をした玉ねぎを混ぜ合わせ、味の深みを生み出している。また、挽肉を使っている点もオーナーのこだわりだ。牛肉のうまみを最大限生かすための秘策である。



オーナーおすすめの一品は「大人の黒ひげカレー」(¥990)。店名である黒ひげの「黒」と黒毛和牛の「黒」から名付けられたこのカレーは、黒ごまペーストと黒糖を使っており辛すぎない、だが大人の味というスパイシーさを醸し出している。一口おぼると、玉ねぎと牛肉のうまみで口の中が満たされ、カレーに対する概念が変わるといっても過言ではない。

開店から半年しか経っていないが、地元民に愛される存在となりつつある「黒ひげ」。オーナーのこだわりが隠されているその味はまさに「大人の味」である。

☆基本情報☆

- ・住所：兵庫県宝塚市小林5-9-85
- ・アクセス：阪急今津線「小林」下車、徒歩5分
- ・営業時間：11時～22時
(ランチ11時～15時)
- ・定休日：不定休
- ・TEL：0797-69-6129
- ・100円OFF ・アルバイト募集



大人の黒ひげカレー (¥990)

K.G. studio

今回のK.G.studioは部室だよりとK.G. PEOPLEです。部室だよりでは卒業アルバム委員会委員長の中野桜さんに、K.G. PEOPLEでは宗教総部副総部長の中野有輝さんにお話を伺いました。

K.G. PEOPLE

#17. 宗教総部 副総部長

中野 有輝さん (文・2016卒)



今回取材したのは、宗教総部副総部長で、中央協議会残存公認自治団体連絡会議の議長を務めた中野有輝さん(文・2016年卒)だ。中央協議会残存公認自治団体とは、関西学院大学学生会の中で活動をしている公認団体の集まりであり、通称六総部二自治会(以下六二)と呼ばれる。いわば中学校や高校の生徒会のようなもので、本学をより良くすることを目的と

卒業アルバム委員会

部員数：15名
活動日：月曜日
18時45分～21時
部 室：新生学生会館2階
卒業アルバム委員会部室
連絡先：kg-album@live.jp

部室だより vol.16

卒業アルバム委員会

卒業アルバム委員会委員長の
中野桜さん(社・4)にお話を
伺いました。

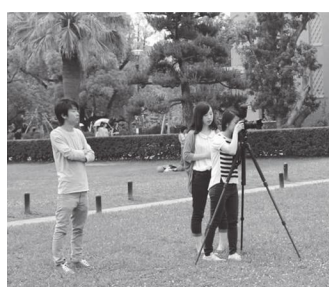
新聞総部(以下、新)・まず、活動内容を教えてください。中野さん(以下、中)・まず、関西学院大学の卒業アルバムは、その内容のほとんどを委員会の部員たちが手掛けています。「良いものを安く、自分たちの思い出となるアルバムを自分たちの手で」を活動理念に、日々制作活動に励んでいます。

新・なるほど。自分たちの手で思い出を紡いでいくわけですね。中・はい。毎年4年生から1年生まで全学年が協力し、実際に関学で学生生活を送っている学生の視点を取り上げることで、他大学にはない独自の卒業アルバムを創り上げています。

新・ということは作った時のやりがいもひとしおですね。中・そうですね。私たちは年度毎に一つの卒業アルバムを創り上げるため、撮影やページェレイアウト作成などを1年間間通して行っています。そのため、アルバムの出来上がりを待った瞬間が一番やりがいを感じますね。努力が形になり、卒業生の手に渡り一生の思い出として何十年も残されることはとても嬉しいことです。

新・委員会というところでほかの部活動との違いはあるのでしょうか？中・そうですね。アルバム制作を通して印刷会社をはじめ、大学の先生や職員さん、事務室や他の部活動、サークルなど普段接点のない方と関わりを持ち、改めて学校の仕組みを知ることが出来ます。

新・「思い出」を作りましよう!!中・撮影には本格的なカメラを使うので、それを使いこなせるようになるまで時間がかります。上回生が基本的に指導に当たりますが、そこで少しでも漏れがあると大きなミスにつながるので、部員同士が互いに気を配りあい、協力していくことが不可欠です。新・なるほど。それは気が抜けませんね。さて、新学期を迎えますが今後の方針や新生に向けたメッセージはありますか。中・昨年度は部員も少なく、一人当たりの作業量が多くなっていました。4月からは三田の卒業アルバム委員



卒業アルバム委員会はTwitterやFacebookもやっているのでもちろんぜひチェックしてみてください!!

した学生組織だ。中野さんは、宗教総部の活動をする一方で、六二が行う会議の議長としても活躍した。中野さんは、宗教総部の中でも千刈リーダーズクラブに所属し、本学が所有する三田市の千刈キャンパスで、子どもや学生のキャンパス生活の手伝いなどの活動を行っていた。「関学独自の部活動で、すごくやりがいがある。中高と個人競技の部活動をやってきたが、宗教総部の活動を通してキャンプリダー同士で協力したり、子どもの体調に気を配ったりと人に気を遣うことを学んだ」と中野さんは話す。その宗教総部の副総部長になっ

誇りを持った4年間

たことがきっかけで、六二の活動とも関わるようになった。既に知っている人もいると思うが、4月1日より新しい学生組織である「学生連盟」が発足する。その学生連盟発足に向け、中心となり下準備をしてきたのが中野さんだ。苦労した点について中野さんは「学生連盟を立ち上げるにあたり、その立ち位置を確立するのが大変だった。主体性を持つて各団体の学生組織に対する考え方や捉え方をまとめることを意識した」と語る。学生連盟が発足したことにより、六二の活動では制限されていたさまざまな活動が行えるよ

うになり、学院側にも認めてもらえる。今後の学生連盟の活動の幅が広がることに、中野さんは大きな期待を寄せている。「今まで学生は保守的な立場にあったが、これからは自分たちで積極的に考えて行動することが求められる。学生連盟は、関学が何を求めているのかということを忘れず、活動していくしてほしい」また、新入生に対して「大学生活が終わったときに誇れる何かに全力で取り組んでほしい。僕は宗教総部や六二での活動を誇りに思う。大学生活は可能性に満ちている。自分で考え、自分の色を出していったほしい」とエールを送った。

文芸部 読み切り小説

『ばいばい、おうおう』

桜庭瑠璃

梅は、静かに花びらを落とそうとしていた。今の私は、きつとこれに似た姿をしている。私は羨んでいた。季節の隙間、すれ違う瞬間まで手を伸ばした。でも触れられない。もう戻れないことも、知ってしまった。あの日書いた手紙が机の引き出しから届いた。速く進み過ぎた時間のせいで消しきれなかった記憶が、それを破り捨てた。理想を現実へと落とし込むのは難しい。理想を切り崩していくことも難しい。簡単な問題を先に解いていたら、一番配点の高い大問を解かないまま試験時間が終わってしまったような感覚だ。頭に落ちてきた花弁を取り上げる。途端に強風が吹いて、髪の毛が目にかかったのを振り払った。目を開けたら指先から花弁は消えていた。淋しさが脳裏によぎった。後悔の兆しが見える。それでも、袴から着替えたスーツは、いつもより緩く感じた。行きかう人々は楽しそうだ。華やかさばかり押し込めず今日は、ゆつくりと培った憂鬱を隠してしまっているに違いない。明日になったら、育ててきた悪いものばかり残る気がするの私だけだろうか。少し向こうの方、私に手を振っている少女がいる。私服に身を包んだ彼女は、記念日の主役たちよりも輝いた笑顔で駆け寄ってきた。「迷っちゃった。大学ってほんとに広いよね」息を切らしながらも若々しく第一声を発し、はにかんだまま私を見上げた。「おめでとーございます、だね」そして次の瞬間には深くお辞儀をする。出会ったところから未だ忙しない。私は笑った。「四月からは、今度はあなたがここに通ってるんだよ」冗談交じりに言うと、少女はにっこり嬉しそうに「そうだよー」なんて、わざとらしく手を叩いてみせた。私もこんな風だったか、それは覚えていなかった。回を重ねるにつれ以前の性格や感情に驚かかかって、振り返ってみても見えなくなっていた。はつきりと映るようだったまた違ったのか、どうだろう。桜を楽しむにしていたような気がする。思えば高校生の半ばから、苦勞の先に咲く花を、待ち望んでいたような。ああ、うつすらと見えた。でも、その真意は定かにはならなかった。言いたいことはないけれど、私は隣にたえず少女の背中を軽く叩いた。「桜並木が綺麗だから、入学式の時まで咲いてたらいいいね」頷き合って、私たちは歩き出した。

大学スタートダッシュ特集

今号は新入生が大学生活を成功させるための秘訣をお教えします。ライバルに差をつけるスタートダッシュを決めよう！

授業の極意

関学に入學すると、まずは時間割を組む必要がある。必修以外の多くの授業は自分で選択して組めるが、学部によってはそれを履修しないと特定の授業が受けられない授業があるなどするため、先輩等の助言を得るのが賢明だ。

講義形式の授業では、よく「レジュメ」と呼ばれるプリントを使う。配られる授業もあるが、自分でLUNAというwebサービスにアクセスし印刷することも多い。教科書を使う授業もある。なお、講義形式の授業には、レポート等の課題が全く出ず出席点が無いものがある。それはテストの結果が単位に直結することを意味し、注意が必要だ。また、座席指定もほぼ無い。

講義形式の授業では、教授がスライドを使うことも多い。それがレジュメに記載のない内容やテスト関係の内容の場合、学生は携帯で写真を撮りまくるが、シャッター音は迷惑になるため、無音カメラを使うべきだ。というか、本来は書き写すのが道理といえる。

また、大教室での授業は時に無法地帯と化す。ニット帽を被り授業を受ける学生も散見される。後ろの席にいくにつれ頭を垂れ意識を失っている学生が増え、雑談・カードゲーム・飲食をする学生もいる。自ら落単の道を突き進んでいることを彼らは知らない。

さらに、自ら授業を休む自主休講や、自ら学校を休む自主全休をする学生もいる。彼らはテスト前になるとレジュメ集めに奔走し、友人のものをも有料コピーすることになる。結局お金の無駄なので、授業はちゃんと出席しよう。

言語の授業では少人数形式が取られている。教授により授業の進め方は全く違う。また、フランス語やドイツ語を履修している学生はその難しさに発狂する者もいる。中国語や朝鮮語は比較的習得しやすいようだ。言語の授業は出席点が高いもの、座席指定があるものも多い。言語の再履修だけは何としても避けたいところ。



M先輩

趣味：音楽鑑賞
ダーツ

好きなアーティスト：
西野カナ

大学スタートダッシュ 成功者M先輩への インタビュー

大学スタートダッシュを成功させ、今では本学のリア充となったM先輩(仮名)にお話を伺ったぞ！みんなもこのインタビュを参考に大学デビューを成功させよう！新聞総部(以下、新)：まず、現在の大学生活について教えてください。

M先輩(以下、M)：(取材当時は春休み)先週まで男女グループで沖縄旅行に、先々週は北海道にスノボ旅行へ行っていました。大きなイベントの無い日は年間パスを持って

休み時間 友人関係の極意

休み時間の過ごし方も様々だ。まずは、探検がてら構内をウロつくのも悪くない。中央芝生で寝てみたり、西日本最大級と言われる図書館に行ってみたり、1限目と2限目の間にあるチャペルに行ってみたり、H号館のKFCでクラッシューズを買ってみたり。

しかし、だんだんと目新しいものが無くなり、授業を受けた教室や次の授業の教室で雑談するようになる可能性が高い。授業を取っていない「空きコマ」の時間は、食堂にこもったり、図書館に寝に行ったりする。寝すぎて授業に遅れる学生もいるようなので、注意が必要。

また、ほとんどの場合はクラスが無いので、何もしないとぼっちになる。頑張っているいろいろな人に話しかけ友人を作ることが大切である。言語の授業は狙い目ではなかろうか。部活動やサークルに入ると一気に友人が増えるので、何かしらに入ることがオススメする。

M・多分、僕的美貌に彼女たちは花を求める蝶のように集まってきたのだと思っています。これは僕美容維持法ですが、毎日撮りをしてSNSへアップロードしています。そうすることで毎日の顔の調子も分かりますし、SNS上の友人にも僕の顔を分かってもらえて二石二鳥です。

新・なるほど。高い意識をもって毎日過ごしていращやるのですね。M先輩ありがとうございました。

いるUSJに通ったり、徹夜でカラオケをしたり、鍋パーティー、たこ焼きパーティーを友人間で行い暇をつぶしています。

新・ガールフレンドが両手でも数え切れないほどいると風の噂に聞いたのですが、合コンなど沢山取り仕切られているのですか？良ければ参加させてください。

M・ハハハ。合コンなんて開きませんよ。

新・では、どうやってMさんはモテているのですか。その

関学用語辞典

はカウンター席があり、ぼっち飯に最適。ないばー【ナイバー】内部進学の学生。派生語・ディープナイバー 中等部からの内部進学。

にがわ【仁川】甲東園の急斜面に負け、バスに乗る金もない学生が使うゆとりルートといわれる。だが、その実態は登校する学生を道路側端の深い側溝へ引きずり込む地獄のデスロードである。編者も実際に大勢の学生の前で落ち、恥ずかしい思いをした。

第5別館の略称。トイレが非常に綺麗。ぼっちトイレ飯にオススメ◎

「ごーるでんういーく」
「グールデンウィーク」
関学生には無い。夏休みと春休みはちよつと長めなので許してちょ。

「たえた」「耐えた」
テストを終えた学生の鳴き声。

「ちゅうしば」「中二」
中央芝生の略称。放課後野球やサッカーに興じる小学生を見ることのできる癒しスポット。

「まま、ぱぱ」「ママ、パパ」
食堂BIGMAMA、BIG

かもじゅぎょう【カモ授業】
単位取得得容易と贈される授業の意。その実態は定かでない。主に西日本の大学生が使用。同意語・楽単。こちらは主に関東圏で使用。

きりきょう【キリ教】
キリスト教学の略称。嗚呼、メシアの御名を略してしまおうとはなんとという冒涇だろう。それでも我が主は許してくださる。

けーじー【KG】
Kwansei Gakuinの略称。ちなみにKGUの略称は関東学院大が商標登録をしている。

関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

● 取得できる車種 ●

大型車・中型車・普通車(AT/MT)・
大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。

SANDA AUTOMOBIL SCHOOL
SAS
SINCE 1963

兵庫県公安委員会指定

三田自動車学院

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995
E-mail:sanda-as@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com



三田自動車学院携帯用H
QB7-0ド